

令和 5年度 杉並区施策評価シート |

(00037)

施策 02 地域の防災対応力の強化											
目標 01 みんなでつくる、災害に強く、犯罪を生まないまち											
施策担当課 防災課	関係課 保健福祉部管理課 土木管理課 済美教育セ										
施策目標 発災時の電源の確保、I C T の活用等により、震災救援所の機能が充実し、避難生活の質の向上が進むとともに、在宅避難者とつながる環境が整備されています。区民の防災意識が向上し、電気火災の発生防止や備蓄品の確保、防災訓練への参加など自助・共助の取組が主体的に行われています。災害時における支援の仕組みづくりを通じて、平常時の緩やかな見守りや支え合いが地域で行われています。											
活動指標					成果指標						
指標名(1) 算式・指標説明	防災訓練の実施回数			指標名(1) 算式・指標説明	災害時に備えて家庭内の対策を行っている区民の割合 区民意向調査による【区民】						
指標名(2) 算式・指標説明	備蓄倉庫・学校防災倉庫の整備数			指標名(2) 算式・指標説明	防災訓練に参加した区民数 【行政】						
指標名(3) 算式・指標説明				指標名(3) 算式・指標説明	避難生活想定者一人当たりの区内食糧備蓄率 区内食糧備蓄量 ÷ 避難生活想定者3日分食糧【行政】						
指標名(4) 算式・指標説明				指標名(4) 算式・指標説明	地域のたすけあいネットワーク(地域の手) 新規登録者数 【行政】						
					指標名(5) 算式・指標説明						
					指標名(6) 算式・指標説明						
区分		単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度		
活動指標	成果指標		実績	計画	実績	(目標値)	実績				
活動指標(1)	1	回	103	500	156	500	303				
活動指標(2)	2	か所	97	97	97	99	99				
活動指標(3)	3										
活動指標(4)	4										
成果指標(1)	5	%	91.3	100.0	91.6	94.0	92.3	100%	令和12年度		
成果指標(2)	6	人	5,479	40,000	13,257	38,000	37,119	45,000人	令和12年度		
成果指標(3)	7	%	66.7	0.0	73.3	80.0	80.0	100%	令和12年度		
成果指標(4)	8	人	1,694	0	1,272	1,700	1,385	1,700人	令和12年度		
成果指標(5)	9										
成果指標(6)	10										
事業費	11	千円	480,617	547,612	492,755	629,078	518,972	特記事項			
人件費	12	千円	188,671	189,521	195,966	194,713	195,391				
総事業費 (11+12)	13	千円	669,288	737,133	688,721	823,791	714,363				
国・都からの補助金等	14	千円	12,465	0	4,481	0	7,538				
総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15	%			2.9	11.8	3.7				
人件費比率 (12÷13)	16	%	28.2	25.7	28.5	23.6	27.4				

課題・分析	<p>これまでの震災での教訓から、耐震・不燃化の促進、避難所における男女共同参画や避難生活の質の向上などの取組を進めてきましたが、新興感染症流行などの新たな課題などを踏まえて、震災救援所の設備充実や運営への様々な配慮が求められています。</p> <p>一方で、耐震・不燃化の促進やコロナ禍等の状況から、在宅避難者の増加が想定されることから、各世帯での食料備蓄を促進させるための啓発や、災害時要配慮者や女性の視点等を踏まえ区が保管する備蓄品の充実や入替を適切に行う必要があります。また、震災救援所において、混雑状況、在宅避難者の把握など、区民の利便性の向上と効率的な運営のため、デジタル化の必要性も高まっています。</p>
-------	--

施策の成果	<p>台風や集中豪雨による風水害や土砂災害、また、今後、高い確率で発生すると予測されている首都直下地震等の大規模な災害に備え、区立施設の改築時に防災倉庫を整備する等、防災機能の強化を図りました。</p> <p>また、災後3日間を乗り切るための食糧備蓄を計画的に進めるとともに、近年、避難所生活において災害時要配慮者や女性への配慮をはじめ、きめの細かい対応が求められているなか、プライベート空間が確保できるテント、マイク落とし、防犯グッズなどの備蓄も行いました。</p> <p>なお、令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う国からの度重なる緊急事態宣言の発出の影響により、訓練を中止する震災救援所が多く見られましたが、令和4年度は、感染対策を講じたうえで実施した救援所が多く、目標とした訓練参加者数の97%を達成することができました。また、災害時に備えて家庭内での対策を行っている区民の割合は、前年度の数値を上回ることができました。</p>
-------	---

今後の施策の方向性	拡充
改善・見直しの方向 中長期	<p>震災救援所の運営において、混雑状況、在宅避難者の把握、災害時要配慮者の安否確認についてデジタル化を図るため、令和6年度のシステム導入を着実に進めていきます。また、区立施設の改修等に合わせて、防災機能の強化を図るとともに、非常用電源が設置されていない震災救援所へ蓄電池を配備し、地域間・施設間での防災機能・設備の均一化を進めます。</p> <p>今後の進め方</p>

令和 5年度 杉並区施策評価シートII（施策を構成する事務事業）

【施策 02】【施策名称 地域の防災対応力の強化】

】 金額の単位は千円

(00037)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1 040	防災会議運営等			77	33,658	33,735	現状維持
2 041	消防団等運営助成			11,743	5,779	17,522	現状維持
3 042	防災意識の高揚			43,095	40,545	83,640	現状維持
4 043	災害応急対策			35,366	26,793	62,159	推進（拡充）
5 044	災害時情報連絡体制の確立			61,949	15,804	77,753	推進（拡充）
6 045	防災施設整備			350,152	41,709	391,861	推進（拡充）
7 121	災害時要配慮者支援対策			16,590	31,103	47,693	現状維持
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				518,972	195,391	714,363	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--